



いのち

いつでも どこでも だれにでも  
**大きな声で** 自分から



安中大好き!

生命を大切にし、進んで学ぶ、素直でたくましい子どもの育成  
～ すなおさいっぱい かしこさいっぱい たくましさいっぱい ～

## 6. 3いのりの日集会

【ねらい】

- 平成3年6月3日、8日の火砕流による災害から30年の節目を迎え、災害を風化させないようにするとともに、当時の体験を継承し、防災に対する意識を高める。
- 「生命(いのち)・きずな・感謝の心」を大切に子どもを育てる。
- 島原市民の一員として、雲仙普賢岳の災害学習をもとに、不撓不屈の精神を養う。
- 「いのりの日」にちなんで半旗を掲げ、黙祷を捧げ、災害で亡くなった方々の冥福を祈る。



いのりの日に寄せる思い 4年1組 園田 煌芽

普賢岳災害の学習をして、火砕流は800度でとても熱く、速度は時速100kmで、車が高速道路を走るくらいの速さだったので、逃げるのは難しいと思いました。6月3日の火砕流で43名の方が亡くなっているからとても悲しいです。火砕流に巻き込まれた人たちはすごく熱かったと思います。災害では噴石や火山灰が降ってきたり、土石流で建物が流されたりして、沢山の被害がありました。ヘルメットをかぶっての生活や、避難しなければならぬ生活が大変だったと思いました。30年経った今は火砕流もなく、山も緑が増えているけど、溶岩ドームが崩れたときの避難訓練をしています。もしもの時に備えて早めに準備をして、命を大切に守っていきたいと思います。

いのりの日に寄せる思い 4年1組 諸田 夢空

わたしは普賢岳災害についていろいろなことを学びました。火砕流はとても熱くて速く、多くの人の命を奪いました。家族を亡くしてしまった人たちはとても悲しく、つらかったと思います。土石流は大雨で大きな石が沢山流れてきて、橋も壊され家も埋まってしまいました。普賢岳はきれいな川や海、島原の町を壊してしまいました。だけど、町の人たちはつらい中でも立ち上がり、町を取り戻すために頑張っていたことを知りました。土石流が起きてても被害がないように砂防堤や導流堤が作られ、緑を増やして山が崩れないようにしています。防災訓練もしています。町の人たちの努力で今の島原があります。普賢岳噴火災害だけでなく、温泉や湧き水など、私たちに恵みをもたらす美しい山なので、ともに過ごしていきたいと思っています。

いのりの日に寄せる思い 4年2組 横田りあん

6月3日普賢岳が噴火しました。山からは白い煙が上がりました。43名の人と、ほとんどの家を焼きつくしました。そんなことはもう絶対に起きないで欲しいです。わたしは実際に体験していません。しかし、もしわたしがその時の火砕流を見ていたらとても怖くて震え上がって動けなくなるかもしれません。わたしと同じ気持ちだった人が実際、山が噴火したときにいたと思います。だから、このつらい気持ちにならないように、ずっと今のおだやかな生活が続くように願っています。

いのりの日に寄せる思い 4年2組 白倉 幸典

30年前に起きた噴火は、198年ぶりでした。大野木場小学校は火砕流で燃え、噴火に巻き込まれた家は全部で1400戸ほどで、たくさんの方が燃えたり壊れたりしました。ぼくが一番怖かったのは、大火砕流で43名の方が亡くなったことです。火砕流は時速100キロを超えることが分かり、車より速いことにビックリしました。ぼくは多くの命をうばった噴火は、もう起こって欲しくないと思っていました。

## おめでとう! かがやく五小っ子

全日本バレーボール小学生大会島原市予選  
女子の部 第3位 安中バレーボールクラブ

<5月29日開催>



## 五小、五つの教え

- 生命を大切に
- 親を大切に
- 感謝の心を大切に
- 自分を大切に
- まじめに